

【書式49-5】扶養義務等にかかる金銭債務の間接強制申立ての申述書（債権者提出用）

令和 年（ヲ）第 号間接強制申立事件

申 述 書 （債権者用）

令和 年 月 日

債権者

印

間接強制の申立てに関し、債権者（私）の言い分は、次のとおりです。

1 全体に関する言い分

(1) 債務者（相手方）のこれまでの支払状況

- まったく支払われたことがない。
- 特に催促したことはない。
- 催促したが支払われなかった。
- 一部支払われた。
 - 支払われた部分は、 任意で支払われた。
 - 私が催促して支払われた。
- 未払分について 特に催促したことはない。
- 催促したが支払われなかった。

(2) 債務者は、未払分について

- 支払うことができるかどうか不明。
- 全額を支払うことは可能だと思う。
- 全額を支払うことは難しいかもしれないが、一部を支払うことは可能だと思う。
- 一部であっても支払うことは難しいかもしれない。

(3) 債務者の財産、収入、支出の状況は、公正証書を作成した時点と比較して

- 大幅な変化があるかどうか不明。
- 大幅な変化はないと思う。
- 大幅な変化があると思う。
 - 財産が（ 増加、 減少）した。
 - 収入が（ 増加、 減少）した。
 - 支出が（ 増加、 減少）した。

2 債務者の財産（ただし、不動産を除く。）

- 債務者には財産があるかどうか不明。
 債務者には財産はまったくないと思う。
 債務者には財産はあると思う。
種類： 現金 預貯金 外貨預金 株式 投資信託
 その他（ ）

また、私が知っている債務者の財産は、以下の表のとおり

※ 例にならない、知っている範囲で記入してください。

	取引先	取引の種類	金額	備考
例	△銀行 △支店	外貨預金	US \$10,000	
例	△証券	○会社株式	約 円相当	

3 債務者の収入

(1) 債務者の収入状況について

- 債務者の収入は不明。
 債務者は次の収入により生活していると思う。
 給与・役員報酬
 自営業収入
 不動産収入
 年金
 その他（ ）

(2) （証明資料がある場合）次の□にレを付した資料の写しを添付する。

- 給与支払明細書又は賞与支払明細書 所得税の源泉徴収票
 確定申告書控え 年金証書等 収入の振込口座の預貯金通帳

(3) 債務者の収入金額は

- 不明
 税込みで（ 月額 年額） 万円くらいだと思う。

4 債務者の支出

債務者の支出状況について、私が知っている点は次のとおりである。

5 債務者に対する強制執行の状況について

私は、現在、未払分について給料その他の財産に対する強制執行の手続中である。

差押えの事件の事件番号

地方裁判所 支部

令和 年 () 第 号 事件

この手続の進行状況は現在、次のとおり。

()

私は、債務者に対し、今後、未払分について直接、給料その他の財産に対する強制執行を申し立てる予定はない。

理由は、 債務者に差し押さえるべき財産がない。

債務者に差し押さえるべき不動産はあるが、担保権がついているなどの事情から差押えをしても回収の見込みがない。

差押えの手続をとったが、回収できなかった。

地方裁判所 支部

令和 年 () 第 号 事件

その他 ()

私は、債務者に対して、現在のところ、未払分について給料その他の財産に対する強制執行を申し立てていないが、間接強制をしても支払ってもらえなかった場合は、直接の強制執行を申し立てるつもりがある。

